Pi.133

第十四号

大きい
画一枚

月曜日の~~晩~~夕飯時（ゆふはんどき）

白山鶴男

鍈夫君は、道端にころがつた小石を、ぽんぽんと靴の先でころがしながら、家路につきました。それにしても、今日の鍈夫君の晴ればれとした嬉しさうな顔！ 鍈夫君には、今日よほど嬉しい事があるに違（ちが）ひありません。学校で先生に成績のよかつた事をほめられた~~事~~のでせうか。それとも、お家で、鍈夫君の大すきな、卵焼の御馳走が、今晩のお菜につけられる事を思ひ出したのでせうか。

いや、今日はそんな事より、もつと違つたとても嬉しい事があつたのです。それは鍈夫君一人だけの喜びではなく、級全体の者の一様に嬉しい出来事があつたからです。

1.

といふのは、級一同の少年達、四十七名の努力によつて、二枚の債券（ぼくは支那事変時局債券でした）が手に入つた事で

東京 文房堂製